第8回北杜市上下水道事業審議会

日時 令和6年8月26日(月)午後3時00分から

場所 高根総合支所 2階大会議室

出席委員 内藤歳雄、浅川俊夫、赤岡繁生、渡邊洋子、堤和彦、小林喜文、千野和仁、小池政満、仁科陽一、加久保久、齊木和茂、高橋よしみ、田中堯子、門野圭司、

事務局 田中伸(上下水道局長)、坂本幹雄(上下水道総務課長)、中田光泰(上下水道施設課長)、有賀英敏(上下水道維持課長)、原和也(総務担当)、清水香(経理担当)、柳澤信吾(総務担当)

議題 (1)社会資本総合整備計画の事後評価について
(2)前回審議会の概要について
(3)前回の質疑について
(4)本市水道事業と県内他市・全国類似団体との比較、料金体系・料金改定状況等について
(5)その他

公開・非公開の別 公開

傍聴人 7名(定員10名)

内容

1. 開会

2. 会長 あいさつ(省略)

3. 議事

(1)社会資本総合整備計画の事後評価について

議長： 議事(1)社会資本総合整備計画の事後評価についてを議題といたします。事務局からの説明を求めます。

事務局： 資料に基づき説明

議長： 事務局から説明がございました。この件についてご意見、ご質問がありましたら挙手にてお願いいたします。ご意見が無いようですので、議題(1)については以上といたします。

(2) 前回審議会の概要について

議 長： 続きまして、議事(2)前回審議会の概要についてを議題といたします。事務局から説明を求めます。

事務局： 資料に基づき説明

議 長： 事務局から説明がありました。この件についてご意見、ご質問がございましたら、挙手にてお願いいたします。ご意見が無いようですので、議題(2)については以上といたします。

(3) 前回の質疑について

議 長： 続きまして、議事(3)前回の質疑についてを議題といたします。事務局から説明を求めます。

事務局： 資料に基づき説明

議 長： ただいま事務局から説明がございました。この件についてご意見、ご質問がございましたら、挙手にてお願いいたします。

委 員： 耐震管率が1%と非常に低いが、それはどのような理由ですか。

事務局： 地震が起きた時に、管路が離脱しないグレーチングパイプを、ここ数年で敷設し始めているので、その分低い数値になっています。

委 員： 表の3番目の水道ビジョンの「耐震性のある水道管の割合」が、前は20.4%でしたが、見直しをした結果20.5%だったということによろしいですか。

事務局： 基幹管路の総延長が、前は18万8,750mでしたが、整理した結果18万8,500mと間違えていたので、訂正することによって、0.1%上がりました。

委 員： ちょっとよくわかりませんが、前回の水道ビジョンの数値は、地盤の良いところを通っている耐震管適合率の数字ではなく、耐震性のある水道管の割合ということで、ビジョンの35ページだと、管路耐震化率というような表現になっていますが、これが要するに耐震化率ということは、資料の2番目と3番目の表との違いがよくわかりません。

事務局： 元々の総延長が間違っており、その延長を訂正したことと、算出する管の延長が違うことについては、導水管、送水管、配水管の本管と支管というものがあり、

水道ビジョンについては、配水管の支管まで計算するため、算出する距離が変わってきます。

委員： 配水管の支管を含めると、資料3番目の率のほうが低くなるような気がします、高くなっています。

事務局： 基本的に地震が起きて液状化になった場合でも管が外れないのが耐震管になります。耐震適合性のある管は、地震の際でも継目の接続部分が離脱しない構造であり、土地が崩れて管が外れてしまうようなところは総延長になるので、3番目の率は増えています。

委員： 公表するとすれば、水道ビジョンにある数字ということで、3番目の表ということでしょうか。

事務局： そのようになります。

会長： 質問が終わりました。他に質問はございませんか。

委員： AIの推論というのは、因果関係が証明されているわけではないですよね。これらの原因があるから必ずあるというものは証明されてない。ビッグデータの中で、概ねこうなるだろうという可能性が高いということですよね。はっきり言えば科学的ではないわけです。科学的でないって話になれば、よく当たる占い師に聞いたのとあまり変わらない話です。定義の問題があると思いますけども、穴を掘った結果のヒット率、これを公表していただきたいと思います。というのは、そこで税金ないし利用料を投入するわけですから、その使い方が良かったのか悪かったのか、これは検証をしないといけないと思います。これをまず公表して、市民の同意を得るのがやり方だと思いますので、ぜひお願いをしたいと思います。

2番目の経常収支比率の話ですけれども、話を聞けば2033年までに有収率が75%まで上がるという計画ですよね。そうなれば、料金収入も増えるから、そうなったらいいよねというようなお話だということでお伺いしておきます。もちろんその方向での努力はしていただきたいと思いますがよろしくお願ひします。

事務局： AIの診断については、漏水箇所の予測をする形になります。実質漏れてないところを掘るということはなく、古くなっているとか耐震の改築、更新をしていくためにする調査でありまして、AI診断は管路更新をするときの参考資料ということでやっております。

事務局： 経営基本計画の17ページに目標設定を記してあり、この目標数値に向かって運営していくことが前提でありまして、少しでもクリアできるように努力していきたいと考えております。

議 長： 他にございますか。他にご意見がないようですので、議題(3)は以上をもちまして終了とさせていただきます。

(4)本市水道事業と県内他市・全国類似団体との比較、料金体系・料金改定状況等について

議 長： 続きまして、議事(4)本市水道事業と県内他市・全国類似団体との比較、料金体系・料金改定状況等についてを議題といたします。事務局から説明を求めます。

事務局： 資料に基づき説明

議 長： ただいま事務局から説明がございました。この件についてご意見、ご質問がございましたら、挙手にてお願いいたします。ご意見が無いようですので、議題(4)は以上をもちまして終了とさせていただきます。

(5)その他

議 長： 最後に、(5)その他についてですが、事務局から何かご報告はありますか。

事務局： 次回第9回北杜市上下水道事業審議会を10月に開催を予定しております。詳しい日程については、後日、事務局からご連絡をさせていただきます。

議 長： この件についてご意見、ご質問はございますか。無いようですので本日予定していた議事は全て終了いたしました。以上をもちまして、本日の議事を終了とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

4. 閉会

以上
(午後4時17分終了)

上下水道事業審議会	会	長	内藤	歳雄
		議事録署名員	門野	圭司
		議事録署名員	浅川	俊夫